

いつまでもお元気で! 100歳おめでとうございます!

4/27 森吉 巧さん



坂野町で、5人兄弟の長男としてお生まれになりました。神戸大学に進学し大阪で数年勤めた後、帰省してご結婚、不動産業と学習塾を経営して1男1女を育てられました。旅行が好きで、東北地方や北海道をよく巡られたそうです。現在、身の回りのことはご自分でなされ、20年ほど通っているデイサービスで、難易度の高い数独やクロスワードパズルに挑戦することを楽しみにされています。30日、お祝いに訪れた市長や関係職員、ご家族に感謝の言葉を伝えられました。

大林町で3人兄弟の次女としてお生まれになり、20歳で県職員の夫とご結婚、1男1女を育てられました。40歳代から居合道や詩吟を始められ、詩吟は91歳まで続けられたそうです。登山も趣味とされており、全国の山々を登られました。現在は、有料老人ホームに入所しており、散歩や日光浴、ラジオを聴いたりしながら過ごされています。「長寿の秘訣は、くよくよしないこと。何事も色々なことの積み重ねです。成るようになります。ケセラセラ!」とお話いただきました。8日は、市長や関係職員、病院長もお祝いに訪れ、家族とともに祝福しました。

5/5 吉田光江さん



善意の寄付

絵本をいただきました



4月19日、絵本「あいいろねずみのジャン・ケン・ポン」が、児童文学作家くすのきしげのりさんをはじめとする、制作に関わられた皆さまより20冊寄贈されました。

この絵本は未来を作る子どもたちに徳島の魅力を受け渡すことをテーマに企画され、藍染め工房で暮らす子ねずみ兄弟の愉快なお話が描かれており、藍染めの魅力を子どもたちに伝える内容となっています

いただいた絵本は、市内小・中学校に配架するほか、市立図書館にも所蔵いたしますのでぜひお手にとってご覧ください。



小松島市の木質素材応援コーナー

木づかいコラム

切り株を見れば方位がわかる?



新緑から深緑へと変わっていく初夏は植物がぐんぐん成長していることが実感できます。樹木もこの時期は成長が早まります。樹木の断面に見られる「年輪」は、この夏期と冬期の生長量の差によってできることはご存知の方が多いと思いますが、この年輪についてよく誤解されているのが「切り株の年輪幅が広い方が南側、日当たりの良い南側の方が良く成長するから」という説、これは間違いです。樹木は葉で光合成された養分を使って幹を作っていくので、日光の影響を受けるのは葉であって幹ではないのです。では、なぜ年輪の幅に偏りができるのでしょうか? 次回解説したいと思います。

問 || お問い合わせ先

11/24(日)

Komatsushima City
"Gyakufu" Marathon 4th

第4回小松島「逆風」ハーフマラソンを開催♪

今年度も小松島「逆風」ハーフマラソンを開催します。7月1日(月)より参加者をランネット(<https://runnet.jp/>)にて募集します! 多くの方のご参加をお待ちしています。

ハーフマラソン開催による交通規制等、会場周辺にお住まいの方々には大変ご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお祈いします。

大会詳細については今後、市ホームページ等で情報を発信する予定です。

問 小松島マラソン実行委員会

(市にぎわいづくり推進本部内)

☎ 38・6522 / FAX 33・0938

✉ gyakuhu-marathon@city.komatsushima.i-tokushima.jp

